

## 福島第一原子力発電所 測定・確認用タンクC群の点検結果

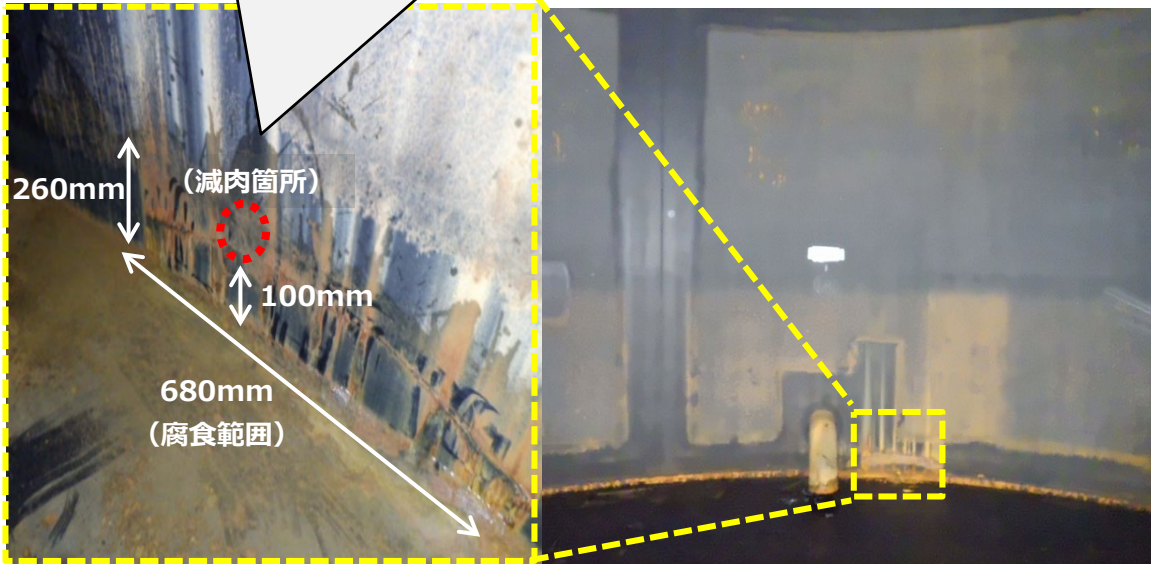
- 当社は、2024年度第4回のALPS処理水海洋放出完了以降、長期的な点検計画に基づき、設備群毎に順次、測定・確認用設備等を点検する計画としています。
- 第4回放出完了後にC群関連設備を、第5回放出完了後にA群関連設備を点検しています。また、第6回放出完了後には、B群関連設備の点検と併せて、共通設備（移送・希釈・放水・取水設備）を点検しています。
- なお、測定・確認用設備等は、A群、B群、C群の3群で構成されているため、1群が点検中であっても、他の2群を使用することができ、放出計画や工程に影響はございません。
- なお、点検期間は以下の通りです。
  - － C群関連設備：2024年 8月26日 ～ 2024年11月下旬 予定
  - － A群関連設備：2024年10月15日 ～ 2024年12月下旬頃 予定
  - － B群関連設備：2024年11月 5日 ～ 2025年 5月頃 予定
  - － 共通設備（移送・希釈・取水・放水設備）：2024年11月5日～2025年3月上旬頃 予定

<2024年11月5日までにお知らせ済み>

- このたび、測定・確認用タンクC群に、異常がないことを確認しました。測定・確認用タンクについては、今後も定期的な外面点検、内部点検により異常の早期発見に努め、長期的な健全性の維持を図ってまいります。また、点検時に塗装劣化・腐食等が確認された場合には、適切に補修を行います。
- 今後、11月27日から12月下旬頃まで、2024年度第7回海洋放出に向けたG4南エリア A群およびB群から測定・確認用タンクC群へのALPS処理水の移送を実施する予定です。
- 引き続き、ALPS処理水の安全な海洋放出を安定的に実施できるよう、緊張感をもって作業を進めてまいります。

- 測定・確認用タンクC群は、底部内面点検を実施し、異常がないこと※を確認しました。
- なお、塗装の膨れ・割れおよび錆を確認しましたが、タンクの機能上問題ないため※、補修塗装を実施しました。  
※タンク内面から超音波厚さ計による板厚測定を実施し、必要肉厚以上であることを確認

C群で最も腐食・減肉していた箇所(C5タンク)  
最小肉厚：**12.89mm**(必要肉厚：10.2mm)



<補修塗装前①>

<補修塗装前②>



<補修塗装後>